



歯科 経営情報 レポート

Available Information Report for Corporate Management

歯科医院経営データ分析 平成24年 歯科医院経営実績報告

- ① 平成24年 医療法人経営データ分析
- ② 医療法人立歯科医院の経営特性
- ③ 平成24年 個人立歯科医院経営データ分析
- ④ 個人立歯科医院の経営特性

1 ・ 平成 24 年 医療法人経営データ分析

* 分析母体：医療法人立の歯科診療所 76 件を分母とした。

* 医業収入他主要勘定科目の 1 診療所平均を算出し、前年比較により参考データとする。

■平成 24 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
I 医業収入	73,127	75,170	102.8
1. 保険診療収入	62,432	64,415	103.2
2. 自由診療収入	10,194	10,085	98.9
3. その他の医業収入	501	670	133.7
II 変動費	14,015	14,678	104.7
医薬・歯科材料費	6,853	7,179	104.8
外注技工料	7,162	7,499	104.7
III 限界利益	59,112	60,492	102.3
IV 医業費用	57,869	59,379	102.6
1. 人件費	36,351	37,133	102.2
(うち役員報酬)	(17,947)	(18,018)	(100.4)
2. その他固定費	21,518	22,246	103.4
減価償却費	3,903	4,204	107.7
保険料	1,207	1,379	114.3
消耗器具備品費	1,002	953	95.1
水道光熱費	1,259	1,470	116.8
その他	14,147	14,240	100.6
V 医業利益	1,243	1,113	89.5

1 | 経営実績 対前年度比較分析

(1) 医療法人経営における全体動向

平成 24 年歯科医療法人の経営実績は、全法人平均で増収減益となりました。

医業収入は 2.8%の増加となり、その内訳は保険診療 3.2%、その他収入 33.7%の増加であり、自由診療は 1.1%の減少となっています。過去の本調査データでは 3 期連続の減収でしたが、24 年度は増加に転じています。一方、変動費は 4.7%増加、医業費用は 2.6%増加し、結果として減益（前年対比 10.5%減）となっています。

- 医業収入は、対前年比 2.8%の増加、金額にして 2,043 千円増加しています。
大部分が保険診療収入で 1,983 千円の増加、一方、自由診療収入は 109 千円と僅かながら減収となりました。
- 歯科材料費や外注技工料等の変動費は対前年比 4.7%増加、金額にして 663 千円増加しています。
- 医業費用は対前年比 2.6%（1,510 千円）の増加となっています。
内訳をみると、消耗器具備品費が減少しているものの、抽出した主要科目の大部分が増加しており、特に水道光熱費の増加が対前年比 16.8%増と高い数値となっています。
- 医業利益は 1,113 千円で、対前年比 10.5%（130 千円）の減少です。

(2) 利益の状況

収入 2.8%の増加に対し、限界利益も 2.3%の増加となりました。限界利益率は、23 年度は 80.3%、24 年度は 80.5%と大きく変化していません。

医業利益は、10.5%のマイナスとなりました。金額にして 130 千円であり、増収分が費用の増加により若干減少しましたが、ある程度の利益が確保されたといえます。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
限界利益	59,112	60,492	102.3%
医業利益	1,243	1,113	89.5%
経常利益	1,728	1,872	108.3%

2 | 医業収入 対前年増減比較分析

(1) 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
医業収入合計	73,127	75,170	102.8%
保険診療収入	62,432	64,415	103.2%
自由診療収入	10,194	10,085	98.9%
その他医業収入	501	670	133.7%

(2) 医業収入分析

- 医業収入は 75,170 千円となり、対前年比 2.8%の増加を示しました。
- 内訳をみると、保険診療が増加（前年対比 3.2%増）したのに対して、自由診療は減少（同 1.1%減少）しています。
- 総収入に占める自由診療収入の割合は、全法人平均で平成 23 年では 13.9%、24 年では 13.4%となっています。

(3) 医業収入による対前年増減比較

医業収入について、金額によって5段階に区分し平均額を算出すると、下記のとおり2億円以上の医業収入を上げている診療所の伸びが大きく、次いで1.5億円以上2億円未満の診療所が収入を伸ばしているという結果となりました。

(単位：千円)

医業収入区分	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
	平均額	平均額	
2 億円超	285,437	327,035	114.5%
1.5 億円以上 2 億円未満	159,352	163,719	102.7%
1 億円以上 1.5 億円未満	112,775	113,510	100.6%
5 千万円以上 1 億円未満	70,338	69,771	99.1%
5 千万円未満	34,381	33,302	96.8%

3 | 変動費・医業費用 対前年増減比較

(1) 変動費・医業費用対前年比較

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

（単位：千円）

	平成23年	平成24年	前年対比（%）
変動費合計	14,015	14,678	104.7%
変動費率	19.2%	19.5%	0.3%
薬品・歯科材料費	6,853	7,179	104.8%
外注技工料	7,162	7,499	104.7%

② 人件費・役員報酬

（単位：千円）

	平成23年	平成24年	前年対比（%）
人件費合計	36,351	37,133	102.1%
役員報酬	17,947	18,018	100.3%

③ その他医業費用

（単位：千円）

	平成23年	平成24年	前年対比（%）
固定費合計	21,518	22,246	103.3%
減価償却費	3,903	4,204	107.7%
保険料	1,207	1,379	114.2%
消耗器具備品費	1,002	953	95.1%
水道光熱費	1,259	1,470	116.8%
その他	14,152	14,240	100.6%

(2) 変動費・医業費用分析

● 変動費

平均で14,678千円（対前年比4.7%）の増加となり、医業収入増に伴う歯科材料費や外注技工料の増加によるものです。

● 人件費

平均で37,133千円（対前年比2.1%）の増加となり、スタッフの人件費は3.8%増、役員報酬もわずかな増加がありますが、収入に対する割合は減少しました。

● その他医業費用

全体で22,246千円（対前年比3.3%）の増加額は728千円のうち、減価償却費が301千円と全体の40%超を占めており、実質の経費増加額は427千円と算出されます。

2・医療法人立歯科医院の経営特性

増収増益に向けた歯科医院の取り組みについて、ソフト・ハード両面から実際の状況を確認したところ、医療法人立診療所 1 件あたりの平均は次のとおりとなりました。

(1) 人員体制

歯科医師のほか、歯科衛生士等職種別の人員数は次のとおりです。

■ 歯科医院の人員体制

	医療法人立歯科医院
歯科医師	1.6 人 (非常勤 : 2.0 人)
歯科衛生士	2.7 人 (非常勤 : 1.7 人)
歯科助手	2.7 人 (非常勤 : 2.4 人)
歯科技工士	1.3 人 (非常勤 : 0 人)
合 計	8.3 人 (非常勤 : 6.1 人)

(2) 夜間診療・在宅診療

来院患者の利便性に対応するため、夜間診療は 8 割以上の歯科医院で実施されています。

■ 夜間診療・在宅診療の実施割合

	医療法人立歯科医院
夜間診療	82.2%
在宅診療	27.3%

(3) 歯科医療機器

デジタルレントゲンだけでなく、近年では、歯科用 CT の導入も進んでいることがわかります。

■ 導入している歯科医療機器の数・種類

	医療法人立歯科医院
ユニット台数	4.3 台
デジタルレントゲン	69.4%
C T	30.6%
口腔外バキューム	58.1%
マイクロスコープ	35.5%
拡大鏡 (ルーペ)	32.3%

(4)アメニティ

駐車台数については、診療所の立地状況（戸建・ビルテナント・メディカルモール等）とも関連しますが、概ねユニット数以上を確保しているようです。

■ 歯科医院内外のアメニティ状況

	医療法人立歯科医院
パーテーション有	50.0%
駐車場台数	6.0台

(5)マーケティング

ブログは1割未満という実施率ながら、ホームページについては4割以上が開設しています。

■ 広告宣伝費・ホームページ開設状況

	医療法人立歯科医院
広告宣伝費	555千円
ホームページ開設 有	41.9%
ブログの実施	9.7%

(6)自由診療

最も実施率が高かったのはインプラントであり、これは患者からのニーズに応える形で導入が進んだものと推測されます。

このほか、自由診療の拡大とともに審美歯科への取り組みも広がっているようです。

■ 自由診療種類別の実施割合

	医療法人立歯科医院
インプラント	38.7%
矯正歯科	37.1%
審美歯科	25.8%

3・平成24年 個人立歯科医院経営データ分析

*分析母体：個人立歯科診療所 209 件を分母とした。

*医業収入他主要勘定科目の1診療所平均を算出し、前年比較により参考データとする。

■平成24年 比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	平成23年	平成24年	前年対比 (%)
I 医業収入	40,465	41,341	102.2
1. 保険診療収入	33,258	34,019	102.3
2. 自由診療収入	6,957	6,997	100.6
3. その他の医業収入	250	325	130.0
II 変動費	7,931	8,309	104.8
医薬・歯科材料費	3,807	3,905	102.6
外注技工料	4,124	4,404	106.8
III 限界利益	32,534	33,032	101.5
IV 医業費用	20,279	19,845	97.9
1. 人件費	8,384	8,377	99.9
(うち専従者給与)	(4,952)	(5,092)	(102.8)
2. その他固定費	11,895	11,468	96.4
減価償却費	4,730	4,618	97.6
接待交際費	864	867	100.3
消耗器具備品費	788	711	90.2
水道光熱費	981	997	101.6
その他	4,323	4,006	92.6
V 医業利益	12,255	13,187	107.6

1 | 収益性 個人立歯科医院の実態

(1)個人立歯科医院平均は「増収・増益」

個人立歯科医院では、増収・増益という結果となりました。

医業収入をみると、対前年比 2.2%の増加（876 千円増）、医業利益は同 7.6%の増加（932 千円増）を示しています。

- 医業収入は、対前年比 2.2%、金額にして 876 千円と若干の増加となりました。保険診療収入、自由診療収入、その他収入とすべての科目が増加しています。
- 変動費は、対前年比 4.8%の増加、金額で 378 千円の増加となりました。
- 医業費用は、総体で対前年比 1.3%減、金額で 259 千円の減少となりました。
- 医業利益は対前年比 7.6%増、金額にして 932 千円増加しました。

(2)個人立歯科医院の利益の状況

限界利益は 1.5%のプラス、医業利益も 7.6%増加し、金額にして 932 千円の増益となっています。これは、限界利益が 498 千円増加したことに加えて、医業費用が 434 千円減少したためです。

医業費用の内訳をみると、接待交際費や保険料等が増加していますが、その他の費用は減少を示しています。

コスト削減の取り組みが継続的に実施されている効果と思われます。

■限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
限界利益	32, 534	33, 032	101. 5%
医業利益	12, 255	13, 187	107. 6%
経常利益	12, 431	13, 369	107. 5%

2 | 医業収入 個人立歯科医院の実態

(1)個人立歯科医院 医業収入対前年比較

(単位：千円)

	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
医業収入合計	40,465	41,341	102.2%
保険診療収入	33,258	34,019	102.3%
自由診療収入	6,957	6,997	100.6%
その他医業収入	250	325	130.0%

(2)医業収入分析 個人立歯科医院

- 医業収入は 41,341 千円、金額にして 876 千円の増加（対前年比 2.2%増）となりました。
- 医業収入の内訳では、保険診療（対前年比 2.3%増）と自由診療（同 0.6%増）がやや増加、及びその他医業収入が 30%の増加を示しています。

(3)医業収入による対前年増減比較 個人立歯科医院

医業収入を金額によって 5 段階に区分し、平均額を算出しました。

下記のとおり、いずれの区分においても金額を伸ばしている結果となりましたが、特に 2 千万円超 4 千万円未満の診療所の伸びが大きく、2 千万円未満の層がこれに続いている状況です。

(単位：千円)

医業収入区分	平成 23 年	平成 24 年	前年対比 (%)
	平均額	平均額	
8 千万円超	89,135	90,839	101.9%
6 千万円超 8 千万円未満	68,668	69,730	101.5%
4 千万円超 6 千万円未満	48,939	49,343	100.8%
2 千万円超 4 千万円未満	29,967	31,085	103.7%
2 千万円未満	11,886	12,278	103.3%

3 | 医業費用 個人立歯科医院の実態

(1)個人立歯科医院 医業費用対前年比較

①変動費（歯科材料費・外注技工料）

（単位：千円）

	平成23年	平成24年	前年対比（%）
変動費合計	7,931	8,309	104.8%
変動比率	19.6%	20.1%	—
薬品・歯科材料費	3,807	3,905	102.6%
外注技工料	4,124	4,404	106.8%

②人件費・専従者給与

（単位：千円）

	平成23年	平成24年	前年対比（%）
人件費合計	8,384	8,377	99.9%
専従者給与	4,952	5,092	102.8%

③その他医業費用

（単位：千円）

	平成23年	平成24年	前年対比（%）
固定費合計	11,895	11,468	96.4%
減価償却費	4,730	4,618	97.6%
消耗器具備品費	788	711	90.2%
水道光熱費	981	997	101.6%
その他	4,323	4,006	92.6%

(2)医業費用分析 個人立歯科医院

●変動費

8,309千円（対前年比4.8%増加）のうち医薬・歯科材料費が対前年比2.6%の増加、外注技工料が同6.8%の増加となっています。

●人件費・専従者給与

人件費合計8,377千円（対前年比0.1%減少）のうち、専従者給与は5,092千円（同2.8%増加）となっています。

●その他医業費用

2,161千円（対前年比15.7%減少）のうち減価償却費を除くと実質290千円減少、その他の固定費（リース料、車両費等）が、427千円（同7.4%）減となりました。

4・個人立歯科医院の経営特性

医療法人立と同様、個人立歯科医院についても経営の取り組み状況を確認し、その詳細を各項目で整理しています。個人立歯科医院 1 件あたりの平均は、次のとおりです。

(1)人員体制

歯科医師が院長 1 名のみという歯科医院が大部分を占め、また歯科衛生士・助手では、約 2 名が平均的な人員数といえます。

■ 歯科医院の人員体制

	個人立歯科診療所
歯科医師	1.2 人 (非常勤 : 1.7 人)
歯科衛生士	2.0 人 (非常勤 : 1.7 人)
歯科助手	1.9 人 (非常勤 : 2.1 人)
歯科技工士	0.1 人 (非常勤 : 0 人)
合 計	5.2 人 (非常勤 : 5.5 人)

(2)夜間診療・在宅診療

夜間診療は 3 割が対応している一方、在宅診療は今後の拡大分野といえます。外来診療と在宅診療ニーズとのバランスが重要になります。

■ 夜間診療と在宅診療の実施割合

	個人立歯科診療所
夜間診療	33.3%
在宅診療	3.0%

(3)歯科医療機器

デジタルレントゲンと口腔外バキュームは導入が進んでいます。

■ 導入している医療機器の数と種類

	個人立歯科診療所
ユニット台数	3.3 台
デジタルレントゲン	56.1%
C T	22.0%
口腔外バキューム	40.9%
マイクロスコープ	26.5%
拡大鏡 (ルーペ)	23.5%

(4)アメニティ

医療法人立と同様、ユニット台数に比べて若干多めの駐車台数を確保しています。

■ 歯科医院内外のアメニティ

	個人立歯科診療所
パーテーション有	56.1%
駐車場台数	4.5 台

(5)マーケティング

診療圏や地域性の影響も考えられますが、ホームページの開設は2割に満たないなど、インターネット等の情報ツール活用は、全体として大きな割合ではありません。

■ 広告宣伝費とマーケティング活動状況

	個人立診療所
広告宣伝費	292 千円
ホームページ開設 有	18.1%
ブログの実施	5.3%

(6)自由診療

通常の治療の延長線上として、一般歯科受診患者からのニーズが多いインプラントと矯正歯科については、それぞれ10%を超えて実施されています。

■ 導入している自由診療の種類と割合

	個人立歯科診療所
インプラント	14.4%
矯正歯科	12.9%
審美歯科	8.3%